



Quercus

[クエルカス]

取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書を必ず最後までよくお読みいただき、
正しく安全にお使いください。取扱説明書は大切に保管してください。



Quercus
[品番：78100]

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

本製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。次の表示をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

⚠ 危険 誤った使い方をすると、人が死亡、または負傷を負う、または火災の危険が生じます。

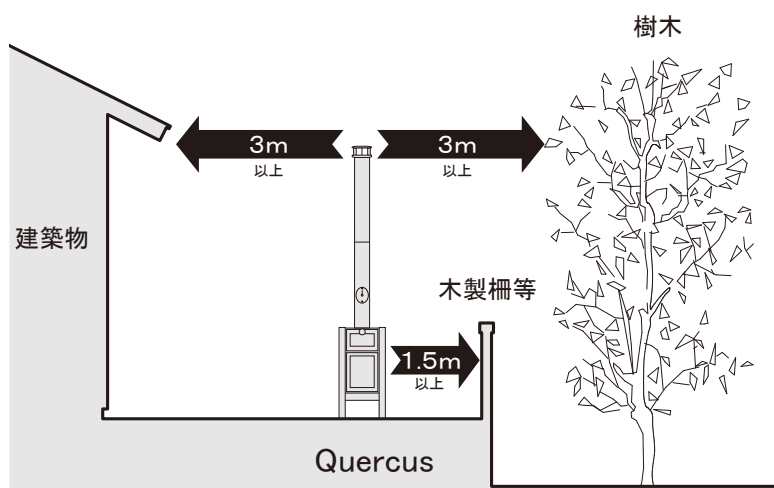
本製品は屋外でのみご使用ください。

屋内やテントの中などの密閉された空間では、絶対に使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒の原因となり大変危険です。

⚠ 警告 誤った使い方をすると、人が死亡、または負傷を負う、または火災の危険につながる可能性があります。

特に注意していただきたいこと

- 本製品の煙突を建築物の屋根貫通施工を行うなど、本書に記載のない施工方法を行う際は、二重煙突や煙突支持金物、雨仕舞のほか、消防法火災予防条例、建築基準法など、法令の基準等の専門性を要するため、必ずストーブ販売店等の専門業者にご依頼ください。
- 気象条件の悪い日、特に風の強い日にはご使用にならないでください。
- 本製品は枯草等の燃えたり溶けたりする物がない平らで安定した地面の上に設置してください。
- 火の粉などが原因で燃えたり損傷したりしないよう、煙突の出口から周囲の燃えるものまでは、**水平距離 3メートル以上** 離して設置してください (図参照)。
- **ストーブ本体は樹木、建築物の壁や木製柵等の可燃物から 1.5メートル以上** 離すして設置してください (図参照)。
- 使用する燃料は、よく乾燥した自然の薪・小枝のみをご使用ください。接着剤や塗料など、化学物質が含まれる木材や人工薪、石炭、ビニール、液体燃料などを使用すると製品の劣化や破損、火災の原因になります。
- 水分を多く含む薪、紙や落ち葉など、爆ぜたり火の粉が飛散したりしやすい燃料を使用しないでください。煙突から火の粉が飛び散り、火災ややけどの原因になります。
- ガソリン、プロパンガスなどの可燃性の液体や気体を近くに置かないでください。
- 本製品の改造は絶対にしないでください。
- お子様だけでのご使用はおやめください。お子様のご使用になる場合は、常に大人の監視が必要です。
- 本体から取り除いた炭や灰は、再び燃え出さないよう適切に処分してください。
- メンテナンスは本体が冷えてから行ってください。
- 定期的に炉内の灰や燃え殻、および煙突に付着したススを掃除してください。掃除を行わないと、燃焼に不具合が発生する他、火の粉が飛散し火災の原因になります。
- 本製品で揚げものや天ぷら料理は行わないでください。火災の原因となります。



【 離隔距離 】

⚠ 注意 誤った使い方をすると、人が障害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

使用上の注意

- ご使用中、および使用後しばらくの間は本製品が高温になりますので、やけどには十分ご注意ください、お取扱いは燃えにくく断熱効果のある手袋やグローブを着用してください。
- 燃焼中、または燃焼直後の本体に水をかけて消火しないでください。本体の破損ややけどの原因となります。
- 本体に積もった落ち葉などの可燃物は、必ず取り除いてからご使用ください。火災の原因となります。
- 本製品をご使用中、特に小さなお子様やお年寄り、お体の不自由な方が周りにいる場合は、誤って手などが触れないよう、周囲の方々が十分にご注意ください。
- 人の混み合う場所では使用しないでください。また、使用中はお子様やペットを周りで遊ばせないでください。転倒や接触によりやけどのおそれがあります。
- 破損・異常が見られる場合は、直ちにご使用をおやめください。
- 万が一に備えて、ご使用中はその場を離れず、消火器や水を張ったバケツなど、消火準備をしてからご使用ください。
- 法令や地域の条例等により、焚き火が禁止、もしくは制限されている場所がありますのでご注意ください。また、火災に関する警報が発令された場合は、本製品を使用しないでください。
- 本製品の上ののったり、座ったりしないでください。転倒や破損の原因となります。

コールテン鋼 お取り扱い上の注意

本製品は保護層によって腐食性のサビの発生を抑制する耐候性鋼（コールテン鋼）が使用されています。

本製品を屋外に放置すると、はじめは表面に普通鋼と同じように赤茶色のサビが発生しますが、濡れる・乾くことを繰り返しながら鋼の表面に合金物質が関与する保護層を形成し、以降のサビの発生を抑制します。赤茶色のサビも年を重ねるごとに暗褐色へと変化し、サビの落ち着いた色調をお楽しみいただけます。

保護層が形成されるはじめのうちは、雨などで周囲の地面や建物などが若干サビ色になることがありますが、保護層で覆われる約半年程度でおさまります。

表面保護層の形成について

ご使用前に本製品の表面へ、サビ色の表面保護層が形成するまでお待ちください。

保護層は、日照や降雨などにより乾湿を繰り返すことで時間の経過とともに生成されます。表面に均一な保護層が形成されるよう中性洗剤等で洗浄して脱脂することをお勧めします。また、塩水で洗うことで保護層の発生を促すことができます。

保護層となるサビがしっかりと形成される前に本製品を使用された場合、熱せられた部分に保護層とは別の皮膜が形成され、赤茶色のサビが発生しないことがあります。この場合、紙ヤスリ等で保護層とは別に形成された皮膜を一度削り落とし、赤茶色のサビが発生するのを待ってから、ご使用ください。

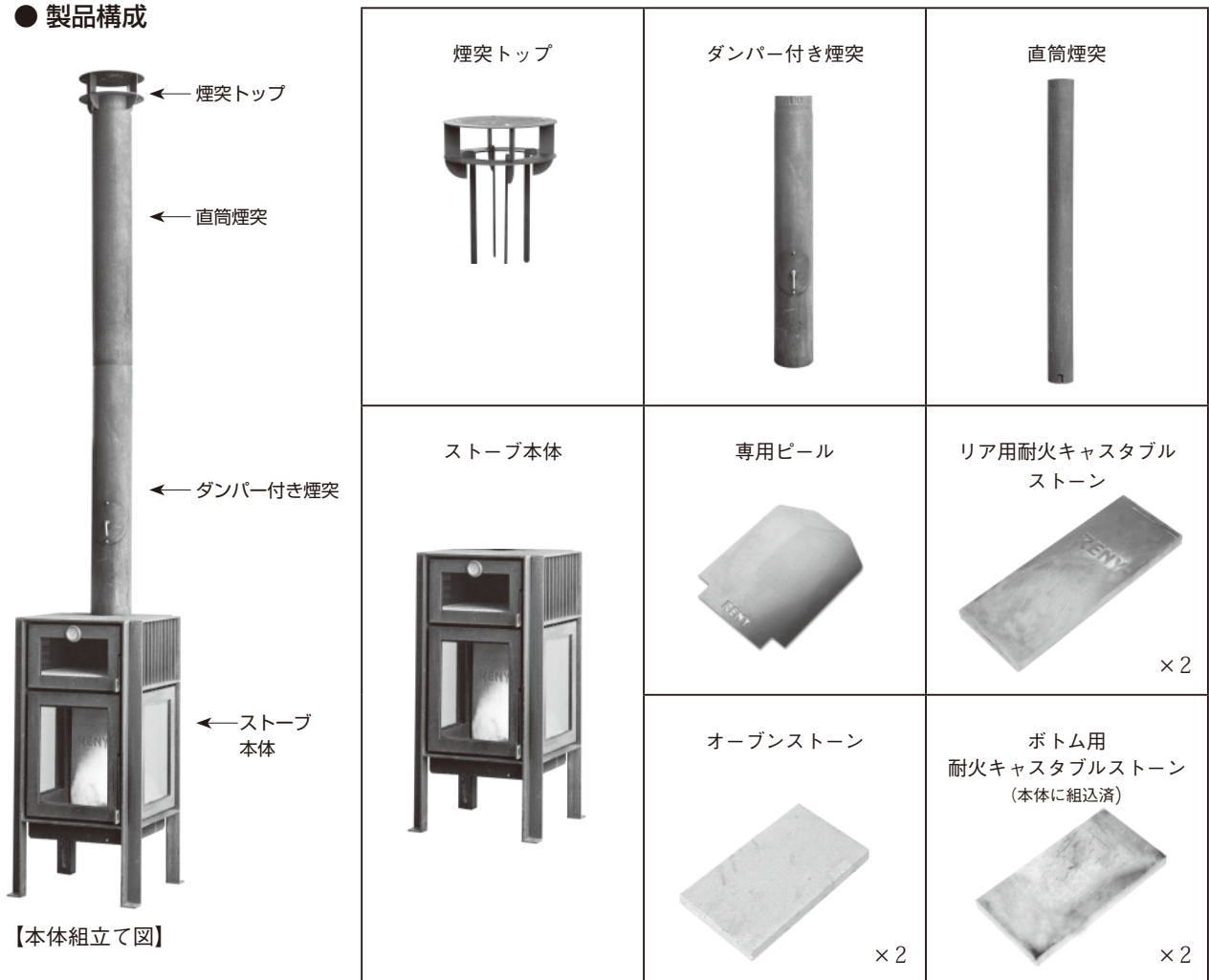
本製品について

本製品は屋外で使用するための薪ストーブです。
 ススがつきにくい3面ガラスにより三方向から炎を眺めることができ、天候に左右されることなく火を楽しめます。
 オープンは230度まで温度が上がり、お料理が楽しめます。

製品の構成（付属品）／名称

本製品を組立てる前に同梱されている部品をご確認いただき、
 万が一不足があった場合は、お手数ですがお買い求めの販売店へお問い合わせください。
 開梱した梱包資材は適切に処理してください。

● 製品構成



● 付属品



取扱説明書
(本書)



グローブ



耐熱グリス
(P3 参照)

設置と組立て



- 落下や転倒によるケガのおそれがありますので必ず作業用グローブを着用の上、2人以上で作業を行ってください。
- 設置と組立て作業は近くに人がいない広く平らな場所で、脚立等をご用意して行ってください。
- 組立ての際、本製品の上に登って作業しないでください。転倒や破損の原因になります。
- お客様ご自身での据え付けや組立てがご不安な場合は、販売店、または専門業者に依頼してください。

1 Quercus をパレットから外す

Quercus のコーチスクリューボルトを足元のパレットから外す。

必要工具

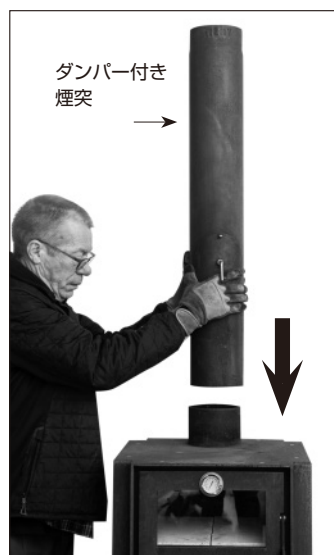
13mmレンチ



地震等、万が一の避難時に妨げにならない位置に設置してください。

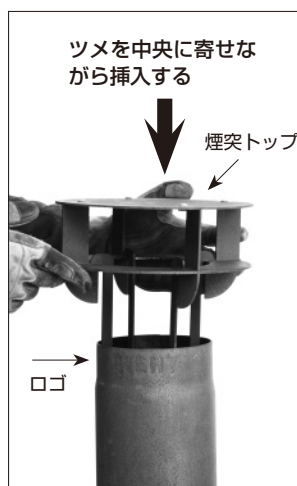
2 ダンパー付き煙突を取付ける

ダンパー付き煙突の『RENY』のロゴの入った部分を上向きにして、ストーブ本体に取付けます。



3 直筒煙突に煙突トップを取付ける

直筒煙突の『RENY』のロゴの入った部分を上向きにして、煙突トップの先の3本のツメを中央に寄せながら直筒煙突に差し込みます。



3 煙突を取付ける

3箇所切り込みが入っている方を下向きにして、ストーブ本体に差し込み、右に回して固定します。入りにくい場合は、ストーブの後ろの穴からボルトを調整します。



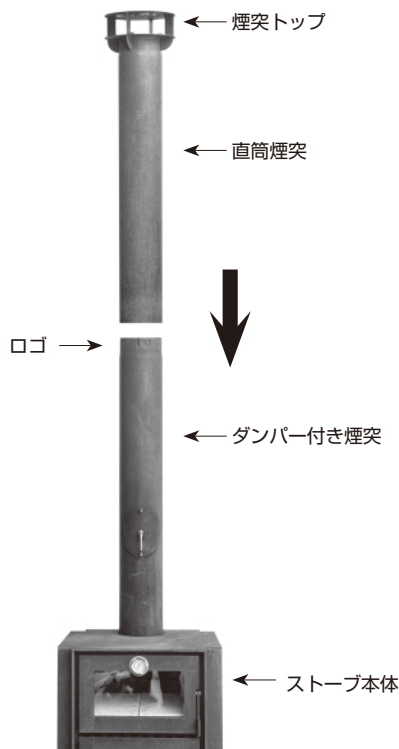
注意

煙突設置の高所作業時、ケガをしないよう十分注意してください。



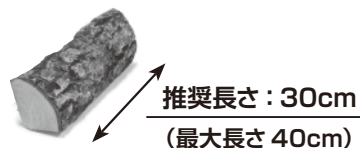
指示

組立て後、本体のガタツキ、取付部品のゆるみ、外れ等の点検を必ず行い、必要に応じて調整や再設置、再組立を行ってください。異常が認められる場合はそのまま使用せず、お買い求めの販売店へご連絡ください。



燃料について

- 指定燃料：本製品の燃料は、良く乾燥した長さ30cm以内の自然の薪をご用意ください。



焚き付け用の細い薪
または小枝



燃焼用の薪
太さ：5～10cm程度

薪の種類はマツ、スギ、ヒノキなどの針葉樹と、ナラ、クヌギなどの広葉樹に分かれます。針葉樹は着火性に優れていますが、火の粉が飛散しやすく火持ちが良くありません。広葉樹はその逆の性質を持っています。



禁止

自然薪以外の燃料の使用禁止

乾燥した自然の薪以外は燃やさないでください。
オガライト等の人工薪、石炭、練炭等は過度の燃焼の原因となり危険です。
また化学物質や塩分等が含まれる木材は有害物質が発生し健康を害するほか、破損の原因となります。



禁止

ガソリン厳禁

ガソリン、軽油、灯油、またはオイルなどの引火のしやすい油は絶対に使用しないでください。火災の原因となります。



禁止

本体脚部へ薪のストック禁止

ストーブからの輻射熱で発火のおそれがあるため、薪を本体脚部に積んではいけません。



本体炉の脚部に薪を積んではいけません

焚き方



燃焼室ドアを開けたままの使用禁止

本書に指示のある場合を除いて、燃焼室ドアを開けたまま使用しないでください。また、ドアが閉まらないおそれのある長い（太い）薪はくべないでください。煙や火の粉が炉外に漏れたり、火がついた薪が転がり落ちるなどして火災の原因になります

1 ドアを開ける

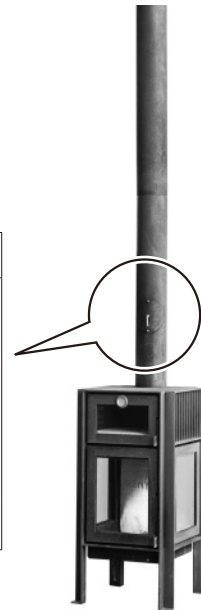
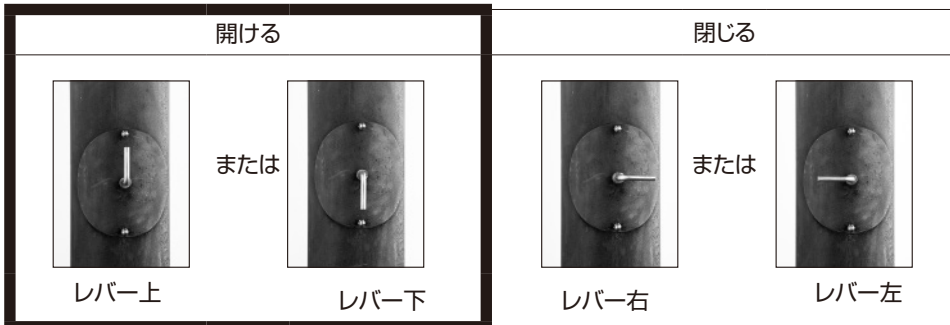
ドアレバーを引いてドアを開けてください。



ドアレバーを持ち上げて手前に引く

2 煙突ダンパーを開ける

ダンパーレバーを動かし、図の位置にして煙突ダンパーを開けてください。
煙突ダンパーを開けないと正しく燃焼しません。



3 薪と焚き付けをセットする

炉内に8～12本の燃焼用の薪（やや細め）をクロスさせて置き、さらに小枝や細く割った針葉樹などの焚き付け用の薪を置きます。（写真参照）その際、薪と薪の間に隙間をあけて、空気の通り道を設けて炉の中央にセットしてください。
→ P6 燃料について



4 着火剤を使って着火する

固形着火剤を 3 でセットした焚き付けの上に置いて着火します。



着火剤は固形着火剤を使用し、ガソリンや灯油などは絶対に使用しないでください。



ファイヤースターター【品番：B100】

小分けになった袋にそのまま着火することができます。手軽で便利な着火剤。たっぷり使える分量。

- 燃焼時間：約 6～8 分 (1個)
- 着火剤重量：1 箱約 700g 入り (約 100 個)



ドラゴン着火剤【品番：630540】

強い火力の安定した炎が約 15 分続く固形燃料。扱いやすいキューブ状。

- 燃焼時間：約 15 分 (1 個)
- 重量：1 パック 350g (24 個入り)

5 ドアを開けて炎を観察後、ロックする

焚き付けへの着火を確認した後、燃焼室ドアは完全に閉めず、1 cm 程度隙間をあけて炎を観察します。

次に薪に火が移り炎の勢いが十分立ち上がったことを確認してから、燃焼室ドアを閉めロックします。



着火後しばらくは、
ドアを 1 cm 程度開ける ↑

6 赤いおきになったら、中～太い薪を追加する

燃焼室内の薪が赤いおきの状態になったら、薪を追加します。空気の通りが良くなるように薪と薪の間に隙間をあけて、中～太い薪をガラスに当たらないよう炉の中央付近に 2～3 本足します。薪を足した後、燃焼室ドアを閉めロックしてください。



ストーブの炉のガラスの半分以上、薪を入れしないでください。ストーブが過剰燃焼となり、破損の原因となります。

薪はここまで

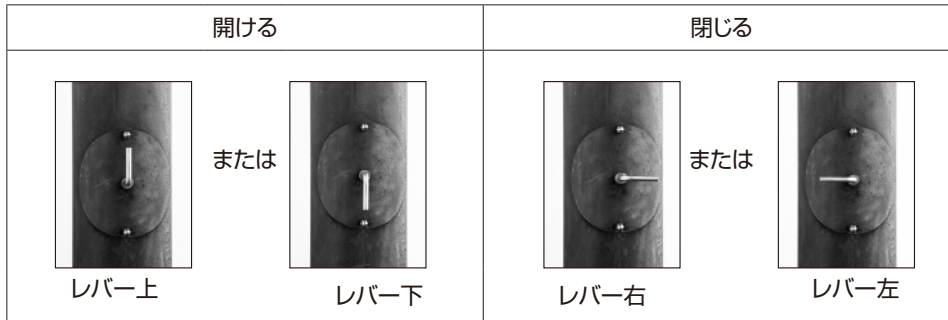


注意

薪のサイズ推奨 30cm (最大 40cm)。長い薪の場合、崩れてガラスに当たらないようご注意ください。

7 煙突ダンパーの操作

安定した燃焼のために、煙突ダンパーを開閉することで空気の流れを調整します。また、薪の種類によって、爆ぜて火の粉が煙突トップより舞う時は、煙突ダンパーを閉じると火の粉の飛散を防ぐことができます。



消火

本製品は、ガスや石油ストーブのように瞬時のうちに消火することはできません。

薪の投入をやめ、炎の勢いが徐々に弱まり消火した時、またはストーブ炉内の薪が完全に燃え尽きた時が消火を意味します。

オーブンについて

オーブンは燃焼室の上に位置しているため、熱を効率よく取り込むことが可能です。

付属の温度計で確認しながら、230℃までの本格的なオーブン料理が楽しめます。

オーブン内寸法：W290×H150×D390mm

オーブンの使用上の注意

食品の調理、または加熱以外に使用しないでください。

- ・ ストープの燃焼中、および調理中は、オーブンドアや容器等が熱くなりますので、必ず付属のグローブ、または耐熱性のオーブンミトン、鍋つかみを着用してください。
- ・ 天ぷらなどの揚げ物には絶対に使用しないでください。
- ・ 調理中は常に注意をはらい、ストープのそばから離れないでください。
- ・ 水をかけるなど、オーブンを急冷させる衝撃を与えないでください。
- ・ オーブンストーンに臭いが移る為、オーブン内に長時間料理を放置しないでください。
- ・ オーブン内で調理している容器等は大変熱くなりますので、テーブルなどに置く場合は必ず鍋敷きなどをお使いください。

調理中、万が一オーブン内で火が出た場合の対処法

- ① 煙突ダンパーを閉めます。
- ② 周りの燃えるものをストープから遠ざけてください。
- ③ オーブンドアを開けずに煙や火が弱まるのを待ちます。
慌ててオーブンドアを開けた場合、酸素が一気に入り、炎の勢いが強くなる可能性があります。
- ④ しばらくしても火がおさまらない場合には、水または消火器を用意してから、オーブンドアを開けて消火してください。
- ⑤ 消火後、再びお使いになる前に、販売店に点検を依頼してください。

調理器具等について

● 使用可

金属製（鉄・ステンレス・銅・鉄鋳物等）、耐熱性のあるガラス・陶器・磁器
鉄鋳物製はシーズニング処理済のもの、ホーロー仕上げのものをご使用ください。

※ 上記以外の容器等は、燃えたり、変形や破損したりするおそれがありますので、ご使用にならないでください。

● 使用不可

上記以外の素材を使用した物や、木製、樹脂、合成樹脂の部品がついている容器。

オーブンの使用上の注意

初めて使用する際は、オーブン内に水蒸気が発生しガラスが曇る可能性があります。

使用し続けると曇りが取れてきますので、ガラスが綺麗になってからご使用ください。

[ご使用前の準備]

専用ピール …………… 中性洗剤で洗ってください。その際、表面に傷がつくおそれがあるため、
やわらかいスポンジで洗ってください。十分に乾燥してから、ご使用ください。

オーブンストーン …… かたく絞った柔らかい濡れ布巾で表面を拭いてください。



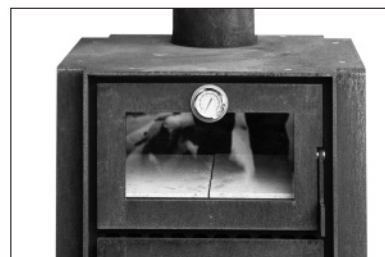
注意

ピザはオーブンストーンに直接置き、
油などを引いたりしないでください。

オーブンの使用方法

温度の確認

オーブンドアに取付けてある温度計を確認します。
温度計の温度と炉内の温度には差があります。目安としてご使用ください。
【補足】オーブン内の温度は、上下、前後、左右で異なります。



オーブンドアの開閉

ハンドルを持ち上げてロックを解除した後オーブンドアを開けます。



オーブンドア、オーブンストーンなど、ご使用中は熱くなりますので十分ご注意ください。



調理

● オーブン内が 180℃に達するまでの時間は、設置の状況や燃料、焚き方等により異なりますが、およそ 60 分です。

【補足】吹きこぼれや油の飛び散りなどに備え、オーブンストーンの上にベーキングトレイやアルミホイルなどを敷いておくと、後のお手入れが楽になります。

オーブン内が目的の温度になったら、容器等を置き調理を行ってください。

料理が仕上がるまで、必要に応じて薪の追加やダンパー調整などで温度の調節を行ってください。

ある程度燃焼室で薪を燃やしてオーブンを温めた後、ダンパーを調節することで燃焼スピードがゆるやかになり、温度を保つことが可能になります。

ピザの出し入れには付属の専用ピールをご使用ください。



オーブンのお手入れ

汚れや焦げがついた場合、速やかにお手入れをしてください。その際は、かたく絞った柔らかい濡れ布巾で表面を拭いてください。



注意

- ストーブが完全に消え、冷めたことを確認してから行ってください。
- ・シンナー、ベンジン、酸・アルカリ性洗剤、研磨入りの洗剤、漂白剤は使用しないでください。
 - ・メラミンスポンジやスチールたわしは使用しないでください。

オープンストーン

設置したまま、または外して掃除を行います。表面に付いた汚れはヘラなどでこそげ落として、固く絞った濡れ布巾で落としてください。ご使用に伴い、オープンストーンが多少黒く変色していきますが、そのままご使用いただけます。



注意

水をかけたり、洗剤で洗わないでください。

● オープンストーンの着脱

マイナスドライバーまたはプライバーを使いオープンストーンの片側を持ち合上げ、オープンから外します。もう一枚もオープンから外します。

取付ける際は片側からゆっくり設置していきます。



専用ピール

乾拭き、または固く絞った柔らかい布で拭き、汚れが気になる場合は中性洗剤で洗ってください。このとき、やわらかいスポンジをお使いください。

本体、煙突のメンテナンス

ストーブが完全に消え、冷めたことを確認してから行ってください。



指示

メンテナンスの終了後は、すべての部品を必ずもとに戻してください。

炉内の灰・燃え殻の処理

ストーブの炉内に堆積した灰や燃え殻をシャベルなどですべて取り除き、処理してください。

灰や燃え殻の処理を行わないと、次にストーブをご使用する際に正しく燃焼しない原因となりますので、使用後は毎回行ってください。

- ・取り除いた灰は、再び燃え出さないよう不燃性の容器に入れ、72時間以上経過させた後に適切に処分してください。
- ・灰の処分については各地方自治体の指示に従い、適切に処分してください。



アンティークアッシュコンテナ (大)
【品番：102526】
アンティークアッシュコンテナ (小)
【品番：AM2828】



アッシュコンテナ (大)
【品番：102524】
アッシュコンテナ (小)
【品番：AM2525】

銅メッキ仕上げを施した表面は、深みのあるアンティークカラーで高級感をプラス。灰を入れるほか、薪入れとしても利用可能。

艶消しのブラックは、一見鋳物を思わせる重厚な質感だが軽量(亜鉛メッキ鋼、黒塗装)。ストーブ周りをシックにまとめてくれます。

煙突の掃除

ストーブの燃焼により、煙に含まれるススやクレオソートなどの物質が煙突内部に蓄積すると、煙突が詰まり正しく燃焼しないおそれがある他、燃えやすいクレオソートにより、煙突火災が発生するおそれがあります。

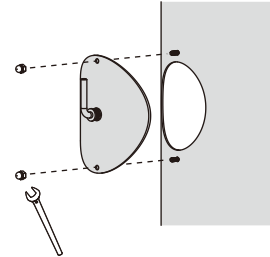
煙突内部の堆積物量は使用頻度や使用状況によって異なりますが、定期的に点検を行い、煙突内部にススの堆積が確認された場合は、煙突内部の掃除を行ってください。

1 ダンパー付き煙突からダンパー部分を取外す

上下2か所のボルトを緩めて取外した後、ダンパーレバーを手前に引いて取外します。

必要工具

10mm スパナ



2 煙突掃除ブラシで、堆積物を除去する

脚立などを用意し、煙突上部より煙突トップを外して煙突用ブラシを使いススを掃除します。ブラシは、堆積物の質と量に応じて一往復、もしくは2～3回繰り返し行ってください。掃除後に煙突内部を確認して、堆積物が除去されていれば終了です。炉内に落ちたススはかき集めて処分してください。



煙突のススの堆積が特にひどい場合は、直筒煙突 ⇒ ダンパー付き煙突の順で取外し、煙突掃除を行ってください。

指示

掃除道具

煙突内部の掃除には、煙突掃除ブラシとロッドが必要です。

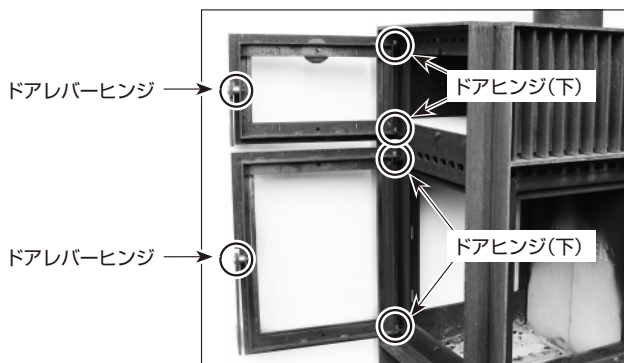
お買い求めの販売店へご確認いただき、煙突掃除道具をご準備ください。

3 煙突ダンパー、煙突トップをもとに戻す

煙突掃除が終わったら、逆の手順で煙突ダンパー、および煙突トップをもとに戻してください。

ドアのグリスアップ

6ヶ月ごとに、図で示す可動部に付属の耐熱グリスでグリスアップしてください。



耐熱グリス
(付属品)

ガラスの交換

ガラスが破損した場合はご使用を止め、新しいガラスと交換してください（パーツ P19）。

新しいガラスは、本製品をお買い求めの販売店までお問い合わせください。

ガラスの交換作業を行う際は、ケガの防止のために、必ず作業用グローブを着用してください。

必要工具

- ・ マイナスドライバー
- ・ ラジオペンチ
- ・ 5mm 六角棒レンチ
- ・ ガムテープ

1 ガムテープなどで割れ目をつなぐ

割れたガラスが飛散しないように、ガラスの表面、裏面それぞれの割れ目をガムテープなどでつないでください。



2 ガラスフレームを外す

ガラスを固定しているフレームごとストーブから取外します。

● ドアガラスの場合

燃焼室ドア、オーブドアともヒンジ部（各 2 箇所）の六角穴付きボルト（M8）を外し取出します。

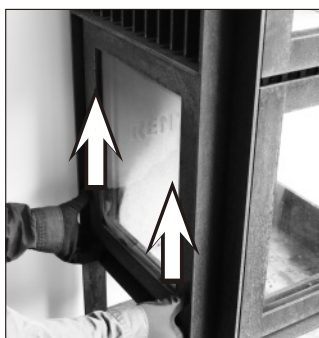
この時、ヒンジピンについているワッシャーを紛失しないようご注意ください



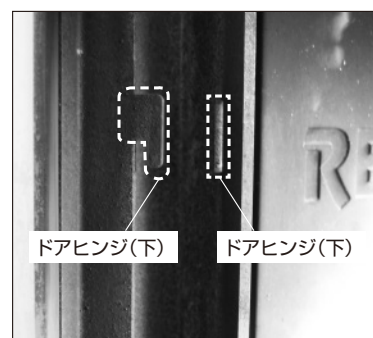
● ドアガラス以外のガラス面の場合

ガラスフレームを持ち上げて斜めにし、ガラスフレームを取外します。

取付ける際は本体の長穴にガラスフレームの爪を合わせ下側に下ろすように取付けます。



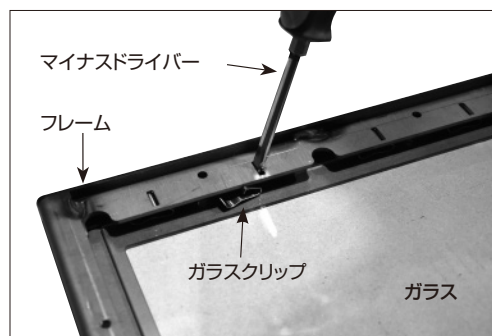
取外し



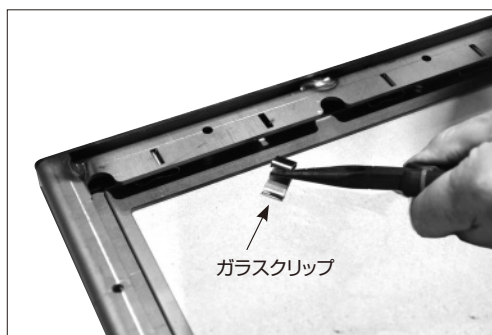
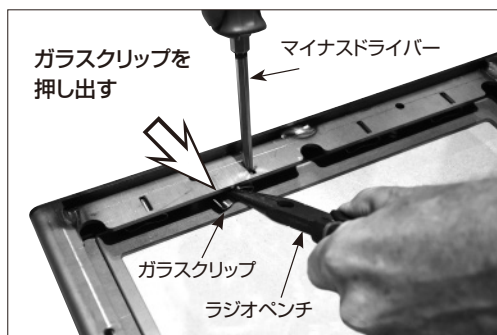
取付け

3 ガラスを外す

- ① 図のようにフレームとガラスの間にあるガラスクリップのピンをマイナスドライバーで押します。

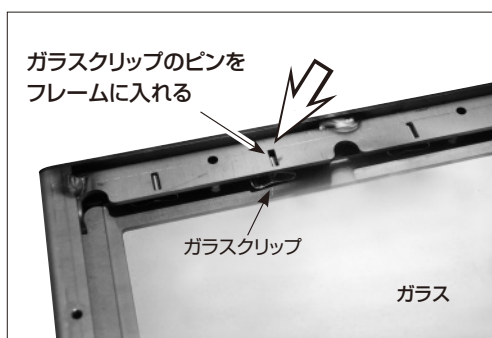
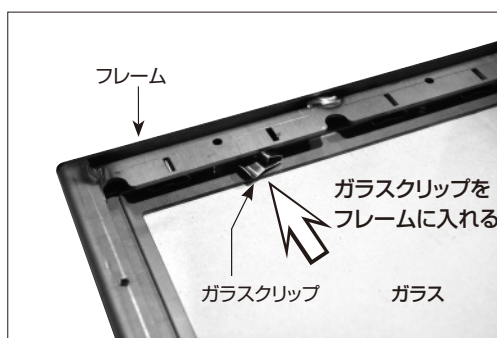


- ② ガラスクリップをマイナスドライバーでコジってフレームの外に押し出し、飛び出したピンをラジオペンチなどで掴んで取ります。フレームに4箇所あるガラスクリップのピンをすべて同じように取外します。



4 新しいガラスを入れる

新しいガラスに入れ替え、ガラスクリップでガラスを固定します。



5 ガラスフレームを取付ける

- ②と逆の手順でガラスフレームを本体に取付けてください。

キャストブルストーンの交換

耐火キャストブルストーンはあらかじめ、組付けた状態で出荷されています。
ご使用や運搬移動の際に破損した場合はご使用を止め、新しい耐火キャストブルストーンと交換してください。
新しい耐火キャストブルストーンに関しては、本製品をお買い求めの販売店までお問い合わせください。
交換作業を行う際は、けが防止のために、必ず作業用グローブを着用してください。



本体の破損の原因となりますので、
耐火キャストブルストーンなしで使用しないでください。

必要工具

・ マイナスドライバー、またはプライバー

1 炉内の灰、燃え殻を処分する

P12～「炉内の灰・燃え殻の処理」に従い、灰および燃え殻を処理してください。

2 ボトム用耐火キャストブルストーンを取り出す

2つ並ぶボトム用耐火キャストブルストーンの中央の隙間にマイナスドライバー、またはプライバーを入れ片方を持ち上げて引き出します。

もう一枚のボトム用耐火キャストブルストーンも同様に取出します。



3 リア用耐火キャストブルストーン的一方を取出す

2つ並ぶリア用耐火キャストブルストーンの中央の隙間にマイナスドライバー、またはプライバーを入れ下部の方を少しななめにしてから、全体を引き出します。

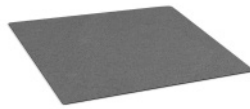
もう一枚のリア用耐火キャストブルストーンも同様に取出します。



4 新しいリア用耐火キャストブルストーンを設置する

取外した順番と逆の順で取付けます。

■ オプション



RB73 用フロアシート

床面の保護用シート。

品番 11103

- サイズ: W590 × D1000 × 厚み 2.3mm
- 重量: 13kg
- 材質: コールテン鋼
- 日本製

■ RB73 シリーズ



Piquia

品番 78101

● サイズ: W40 × D33.5 × H80 (煙突含 201)cm

● 重量: 45.0kg

● 材質: 本体/コールテン鋼 ● 組立式



Quaruba L

品番 78055

● サイズ: W54 × D54 × H85 (煙突含 287)cm

● 重量: 110.0kg



Quaruba XL

品番 78056

● サイズ: W54 × D54 × H95 (煙突含 297)cm

● 重量: 115.0kg

■ アクセサリー



Wood Storage Bruges (ウッド ストレージ ブリュージュ)

ベルギーの典型的なファサードを取り入れた大型の薪棚。積まれた薪の表情、サビの味わいをアクセントとした美しさは、庭のシンボルに。

品番 78095

- サイズ: W380 × D74 × H186cm
- 重量: 250.0kg
- 材質: コールテン鋼
- 組立式

ORDER

受注生産品のため、お届けまでに時間をいただきます。

Wood Storage Blox



クエルカスとセットで置くのに最適なコールテン鋼製薪ラック。木製シートを加えてベンチとしても使用できる。

BloX (ブロックス)

品番 78090

- サイズ: W48.5 × D38.8 × H47.2cm
- 重量: 21.0kg
- 材質: コールテン鋼 ● 組立式

BloXX (ブロックス エックス)

品番 78091

- サイズ: W48.5 × D38.8 × H92.6cm
- 重量: 37.0kg
- 材質: コールテン鋼 ● 組立式



大きな車輪付きで薪の運搬に利用できます。オプションの木製シートを置けばテーブルに变身。

Wood Strage Ker

品番 78102

- サイズ: W58 × D59 × H99.2cm
- 重量: 41.0kg
- 材質: コールテン鋼、チューブレスゴム
- 組立式

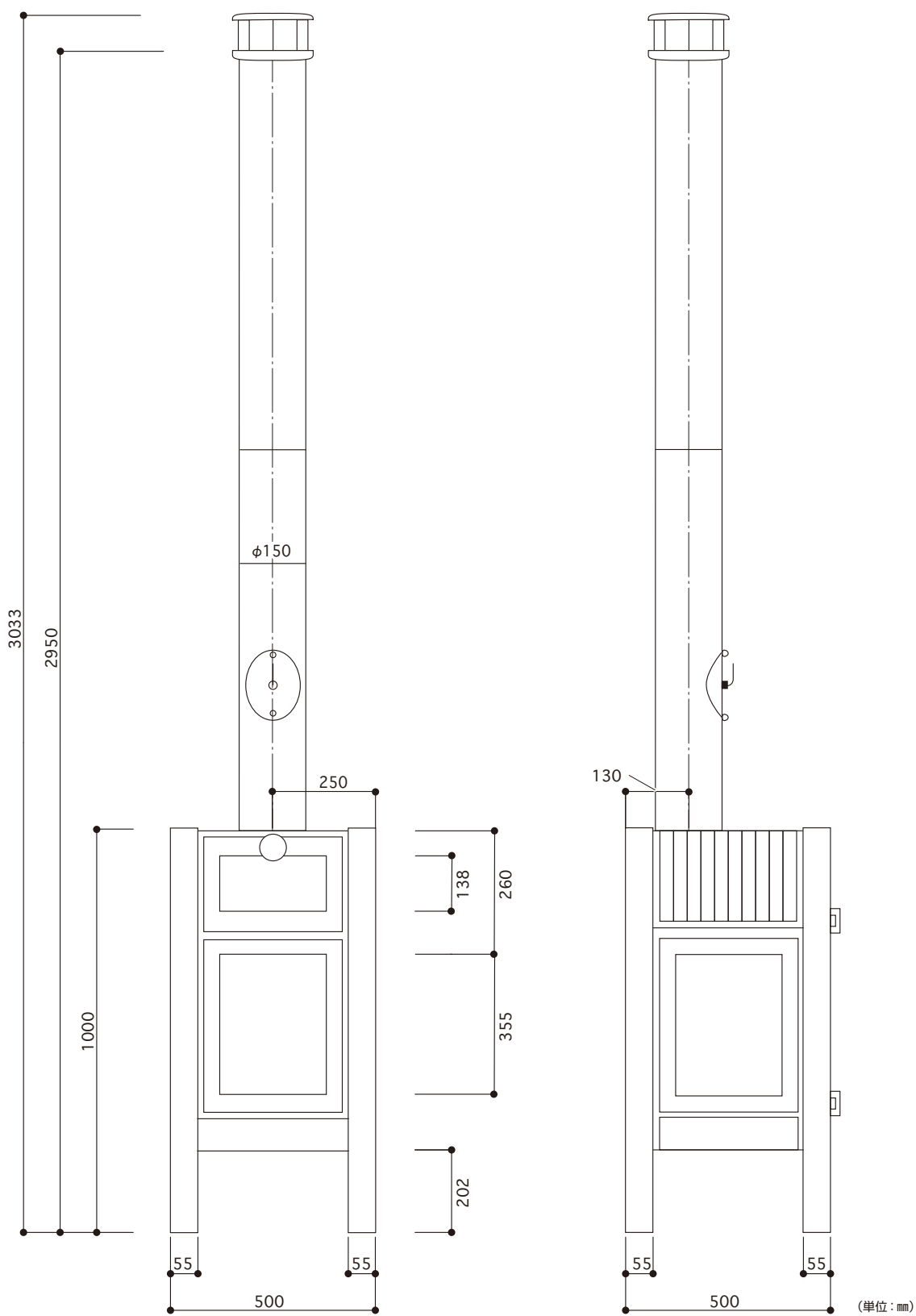


Wooden Seat Blox (木製シートブロックス)

品番 78092

- サイズ: W42.5 × D38 × H2.8cm
- 重量: 2.4kg
- 材質: 木 (イロコ)

寸法図・仕様

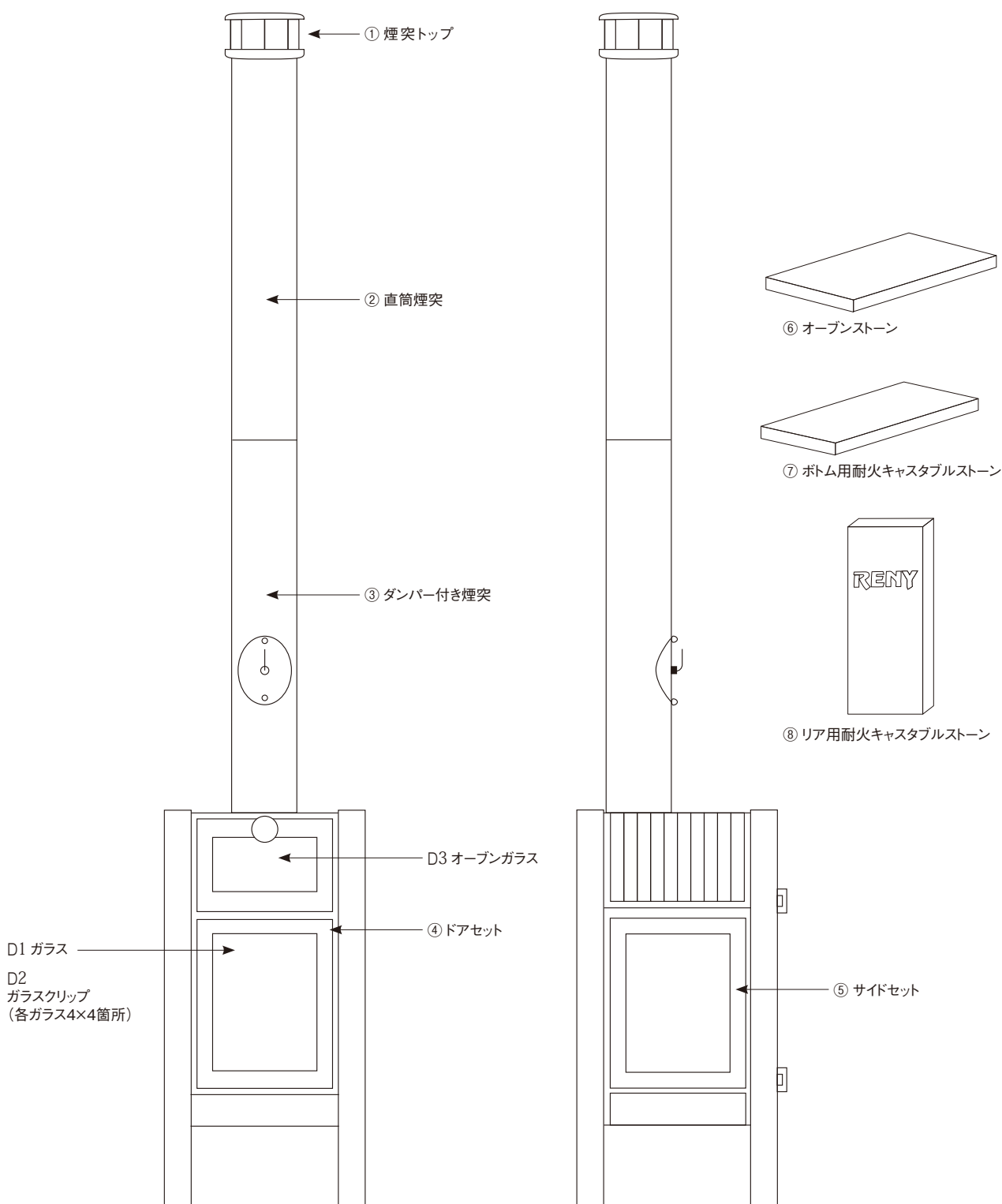


- 材質: 本体、煙突、煙突トップ、スチールバップル / コールテン鋼
ドア / コールテン鋼・ガラス
- 重量: 175.0 kg
- 付属品: グローブ、耐熱グリス
- オランダ製

補修部品

お取り寄せ可能な補修パーツの一覧です。

ご注文からお届けまでお時間を要する場合があります。詳しくは、お買い求めの販売店にご確認ください。



図番	品番	商品名
①	0600100162	煙突トップ
②	0600100102	直筒煙突
③	0600100092	ダンパー付き煙突
④	0400555032	ドアセット QUERCUS 用 (ガラス含む)
⑤	0400555022	サイドセット QUERCUS 用 (ガラス含む)

図番	品番	商品名
⑥	0400555061	オープンストーン
⑦	0400555041	ボトム用耐火キャストブルストーン
⑧	0400555051	リア用耐火キャストブルストーン
D1	0100090271	ガラス QUERCUS 用
D2	0100040011	ガラスクリップ QUERCUS 用 (16個)
D3	0100040261	オープンガラス QUERCUS 用



ファイヤーサイド株式会社
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂497-871
☎0120-46-7877
<https://www.firesidestove.com>